

介護殺人の予防—福祉はどう支援できたのか

目的：刑事司法ソーシャルワーク活動の中で、介護殺人の事件を受けることがあります。介護殺人は高齢者問題に限りません。障害のある子どもと親、若い母親と乳幼児といった年齢の低い方でも生じています。そこには、孤立、貧困、病気、孤独などが想像できます。福祉関係の私たちとしては、事件が起きる前につながり支えることはできなかったのかと考えてしまいます。事件後の支えも考えます。介護殺人の予防について、基本とその対策を学び、新しい犯罪の発生、再犯を防ぐために司法、医療、福祉等の関係者そして当事者や市民と考えたいと思います。

日時：2025年3月30日(日)午後1時より4時

会場：早稲田大学法学部(予定)オンライン(予定)

主催：公益社団法人 東京社会福祉士会 (豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル5階)

共催：早稲田大学社会安全政策研究所

内容 (敬称略)

□基調講演：介護殺人の予防—介護者支援の視点から

日本福祉大学社会福祉学部教授 湯原 悦子

□シンポジウム：介護殺人の予防—福祉はどう支援できたのか

介護殺人事件の弁護をして：第一東京弁護士会 工藤 杏平
同 折戸 誠子

介護殺人事件に社会福祉士として関わって：

東京社会福祉士会司法福祉委員会 澤 陽子
司会・進行：東京社会福祉士会司法福祉委員会 渡邊有貴

定員：会場 150人

受講料：①一般 2,000円、②道府県社会福祉士会の会員・保護司 1,500円、
③東京社会福祉士会の会員・学生 1,000円

問合せ先：東京社会福祉士会：司法福祉委員会 TEL. 03-5944-8466 E-mail: office@waseda-spike.jp

お申込み方法：イベント情報サイト「こくちーず」からお申し込みください。
会場参加とオンラインで申込画面が異なります。

会場参加

<https://www.kokuchpro.com/event/233ee26b5934020dc95a070f75dc3b94/>

オンライン参加

<https://www.kokuchpro.com/event/835d83cbc01443da8f25e3a9da0596c3/>

会場参加二次元コード



オンライン参加二次元コード

